

活動概要

国境なき医師団(MSF)が援助の対象としているのは、さまざまな理由で人道上的困難に直面し、医療を受けることのできない人びとである。MSFの援助プログラムは、活動地で事前に行う調査から推測される需要に合わせて組み立てられている。

2010年にはのべ6500人¹が海外派遣スタッフとして活動を行った。同年度の援助開始理由の内訳は、武力紛争(31%)、感染症及び疫病の流行(42%)、社会的暴力及び医療からの疎外(18%)と、自然災害(8%)である²。

2010年、日本からは300人以上の登録者のうち、計63人がのべ88回22カ国のフィールドへ派遣された¹。

活動規模の大きい国3カ国 (2010年)²

- 1.ハイチ
- 2.コンゴ民主共和国
- 3.スーダン

日本から派遣されたスタッフの主な活動地 (2010年活動ベース)³

1. ナイジェリア
2. スーダン、パキスタン
3. ハイチ、マラウイ

日本から派遣されたスタッフ数 職種割合 (2010年活動ベース)³

1. 医師：36回(40%)
2. ロジスティシャン、建築士：19回(21%)
3. 看護師：18回(20%)
4. アドミニストレーター：7回(7%)
5. プログラム責任者：3回(3%)
6. 助産師：2回(2%)
7. 薬剤師：2回(2%)
8. アシスタント・コーディネーター：1回(1%)

■報道、出版に関するお問い合わせ：

特定非営利活動法人 国境なき医師団 (MSF) 日本

住所：〒162-0045 東京都新宿区馬場下町1-1 早稲田 SIA ビル3階

電話：03-5286-6137/6143 (広報直通)、Fax：03-5286-6124

E-mail：press@tokyo.msf.org

ホームページ：www.msf.or.jp

プレスルーム：<http://www.msf.or.jp/pressroom/index.html>

¹ 出典：MSF Activity Report 2010, pg107 http://www.msf.ca/fileadmin/documents/publications/MSF_Activity_Report_2010.pdf

² 出典：MSF Activity Report 2010, pg8

¹ 出典：2010年活動報告書, pg10 <http://www.msf.or.jp/info/activity/pdf/AR2010.pdf>

*文中%は小数点以下切り捨て